



勝彦の千思万考

何よりもさまざまなハードルを乗り越えて民間委託が進み始めたことが大きな改革であります。確実に小郡は変わってきています!



建設中のぞみが丘小学校給食施設
令和2年度より民間委託で
自校式給食がスタート

今回、小郡、三国、のぞみが丘の3つの大規模小学校で学校給食の調理業務を民間に委託する方針が出されました。市民の皆さんには目につかない、目立たない事ではありますが持続可能な行政運営をしていくために、経費削減と多様な化する市民ニーズに応えるために民間が持っているそれぞれの専門分野でのノウハウを活用することが出来ます。

最少のコストで最大の効果をあげることは経営者であれば誰もが考えることです。小郡市でも平成19年から取り組んでいる行財政改革行動計画の中で民間委託を積極的に推進するように計画をされています。私も一般質問等で何度も民間委託の推進を提案してきましたが、さまざまなハードルがあるという事から取り組みが進みませんでした。

民間委託は人件費などのコスト削減と行政にはない民間のサービスを取り込むことにより行政サービスの質を向上させる効果があります。よく知られているのがT S U T A Y A やスターバックスが入っている佐賀県武雄市の図書館です。民間委託することで年中無休、9時〜21時まで利用する事ができます。また、県外からも多くの人が訪れる観光スポットにもなっています。

市の経営改革が一步前進

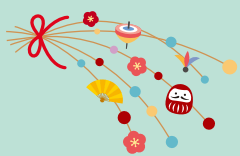
勝ちゃんのてくてく雑記

こんなすばらしいスポーツがあったのかと楽しませ、世界の多くの人々を熱くしたラグビーワールドカップ日本大会! 4戦全勝で予選を勝ち上がり見事ベスト8、日本ラグビー史上初の決勝トーナメント進出。残念ながら優勝した南アフリカに敗れましたが多くの感動と希望を与えてくれました。私は学生時代にラグビーをやっていましたが(思い出は走ってキツかったことと泥まみれになって痛かったこと、もっと一生懸命にやればよかったと後悔です)この大会でラグビーの素晴らしさを改めて感じました。

「One For All, All For One」

1人はみんなのために、みんなは1人のために、そして「ノーサイド」試合終了の笛が鳴れば敵味方関係なく健闘を称えあおうというものです。この素晴らしい精神を思い出させてもらいました。

これからの活動にいかしていきます。



近況報告

にわかソムリエになっています🍷
ワインが好きでよくネットで購入します💻
リーズナブルで美味しいワイン!!
ハズレがありません😊
そしてワインの香りや味の特徴まで説明書付きで送られてきます。



井上勝彦プロフィール

昭和41年2月 浮羽町(現在のうきは市)生まれ
53歳 うお座 A型

●平成17年 小郡市議会議員補欠選挙で初当選
議会での経歴

平成20年5月〜22年5月 総務文教常任委員長
平成24年5月〜26年5月 議会運営委員長
平成26年5月〜30年5月 議長

●平成30年 小郡市議会議員選挙で当選。現在5期・15日目。
現在は 議席番号14番

同志7名で結成した最大会派 おごおり創志会会長
議会選出 監査委員
保健福祉常任委員会 委員
議会運営委員会 委員

《現在活動中の団体》

- ・NPO法人 元気っ子未来塾 監事
- ・明るい社会づくり運動県南地区協議会 常任理事
- ・福岡都市圏研究会 会員 など

小郡市議会議員

井上勝彦後援会

勝ちゃんタイムズ

KATCHAN TIMES

NO.31 New Year 2020

財政再建への道

新しい収入源 ふるさと納税が今年の2倍!

3億4200万円だった平成30年の2倍(同月比)で絶好調です。この調子だと6億円も夢ではありません。ちなみに昨年は約1億4000万円の収入増でした。

より利用しやすく
2月よりコミュニティバスの曜日運行が開始!

御原・味坂ルートと立石ルートの曜日運行を始めます。1日往復3便の運行です。またフリー乗車区間を御原・味坂ルートの一部で試行的に実施します。

※詳細は1月1日・15日の市の広報をご覧ください。

持続可能な市政運営のために
民間のノウハウを活用!
学校給食調理業務の
民間委託がスタート!

※裏面に関連記事を掲載しています。



小郡小学校給食施設

市は5月に緊急財政対策計画を策定して財政健全化への取り組みを始めました。その取り組みを注視して、より効果的に計画が推進出来るように審査・提案をしてまいります。

- 取り組み一、投資的経費の削減
緊急性・安全性に考慮して実施しますが市独自財源の道路建設等は原則凍結
- 取り組み二、経常経費の見直し
事業の効率化や規模の縮小、補助金・公共施設の閉館時間の見直し等を実施
- 取り組み三、総人件費の圧縮
民間委託や事務事業の見直しを推進
- 取り組み四、ふるさと納税制度の充実強化で寄付金の増加

市に対してのご意見やご質問をお知らせください。

井上勝彦事務所 〒838-0138 小郡市寺福童322-1
☎0942-73-3966 FAX0942-73-3889

恭賀新年

令和二年

井上勝彦





9月議会報告

8月30日～9月26日までの28日間の会期で開催しました。平成30年度の決算認定について、特別委員会を設置して最小の経費で最大の効果を上げるように適正に執行されたのかを慎重に審査して承認しました。

審議された主な案件

議案第57号 令和元年度 一般会計補正予算(第4号)の承認について
2億9800万円を追加した226億2700万円を予算とする。

主な歳出(支出)

児童措置費

私立保育園等施設整備事業 —— 1792万円
(2年間総額での補助金は1億7924万円の予定)
受入児童の定員増を伴う城山保育園の園舎増改築工事に対する補助金です。増築に伴い児童受入の定員が70→90へ20名増加します。これまで市内7園で138名の定員増を伴う施設整備に取り組んでいます。



増改築予定の城山保育園

災害復旧費

公共土木施設災害復旧事業 —— 4518万円
7月21日の豪雨(1時間あたり86mmの降水量を記録)による道路法面の崩壊や河川越水による堤防の洗堀などの被災箇所12ヶ所の復旧工事費です。



立石校区の鎗巻川



立石校区の野越堤

12月議会報告

12月2日～20日までの19日間の会期で開催しました。財政再建を進めていく上で市民サービスへの影響は否めません。率先して推進していくための決意として市長、副市長、教育長が報酬を削減しました。市議会も4%の報酬削減を致しました。市民サービスへの影響が最小に、そして一刻も早く再建が出来るように努めて参ります。

審議された主な案件

議案第67号 令和元年度 一般会計補正予算(第6号)の承認について
4億2800万円を追加した230億6700万円を予算とする。

主な歳出(支出)

心身障害者福祉費 —— 1億6060万円
医療・サービス費や障害児の放課後デイサービス利用費です。

児童福祉費 —— 1億697万円
児童手当や子ども医療費の助成などです。

農業振興費 —— 9812万円
災害復旧のための補助金です。

一般質問

～9月議会にて～

将来に向けた土地利用について

質問

土地利用について小郡市は他市と比べて多くの規制がありますが、新たに市の将来を見据えてどのような構想を立て、それぞれの計画に取り組んでいこうとお考えなのかお尋ねします。

令和2年～3年にかけて土地利用を進めていく上で重要な計画が見直しの時期を迎えています。いずれも市の将来を決める重要な計画です。

- ①総合振興計画(小郡市の最上位に位置づけられる計画)
- ②都市計画マスタープラン
- ③国土利用計画

※総合振興計画とは、長期的な展望に基づいて都市づくりの将来目標を示すとともに、市政を総合的、計画的に運営するために各行政分野における計画や事業の指針を明らかにするものであり、市政運営の最も基本となる計画です。第6次総合振興計画が令和3年から10年の計画で始まります。

※都市計画マスタープランとは、将来に目指すべきまちの目標を明らかにし、その実現のために必要となる土地

利用と道路、公園などの都市施設の整備についての基本的な方針を示すものです。おおむね20年後を目標として進めてきたこの計画も令和2年までで見直しの時期になっています。

※国土利用計画とは計画的、合理的に土地利用を進めて市の発展と良好な生活環境の確保を図るための計画です。平成20年に策定された第2次小郡市国土利用計画も令和2年で見直しの時期になっています。

副市長答弁

3つの計画が改定時期を迎えているということを1つの節目と捉えてきちんと見直していく必要があると思います。土地の開発や利用など大変難しい課題を抱えていますが、課題があるから諦めてしまえばそこまででございます。地域住民の意思を反映してつくっていくべきである都市計画マスタープラン。その原点に立ち小郡市民の皆さんの意向を十分に踏まえた上で、県としっかり協議をしていく、粘り強く、すぐに出来なくてもこれが小郡市の意思だということを示して計画を策定していかなければならないと考えています。

公共施設の学習スペースについて

質問

8月2日に市議会では小郡高校生・三井高校生との意見交換会を開催しました。小郡にあったらいいと思うものは何ですか?というテーマの中で、学習できる場所があったらいいという意見が出ていました。小郡市は図書館に学習スペースがないので公共施設を学習できる場所として開放していると思いますが、その現状について、またその広報・周知についてどのようになされているのかお伺いします。

教育長答弁

市民の皆さんの学びを支援する立場から、市内8カ所の校区コミュニティセンターと小郡市生涯学習センターなどにおいて学習スペースを解放しています。また、図書館入り口エントランスホールの一部も、学校の夏休みの期間限定の自習コーナーを設置しています。これからも各施設の利用状況を勘案しながら可能な限りサービスを提供していき

たいと考えています。広報・周知についてはそれぞれの所管課が個別に情報を提供しているのが現状です。今後情報を一元化し関係各課、市内の高等学校、専門学校等の関係機関と協議を行いながら情報提供のあり方について検討していきます。また、ツイッターやフェイスブックなどSNSを有効に使い、より多くの方にご利用いただけるよう努めていきたいと考えています。



図書館エントランスの学習スペース

上記の質問の他に会計年度任用職員制度について、質問をしました。会報誌のスペースの都合で一部をご紹介しましたが、市役所ホームページの市議会 インターネット中継でご覧になれます。是非ご覧になってください。